

会議結果のお知らせ

令和5年度第1回宮古市地域公共交通会議を、次のとおり開催しました。

令和5年6月30日

宮古市地域公共交通会議

- 1 開催日時
令和5年6月23日（金）午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所
市民交流センター2階 多目的ホール
- 3 議題
 - (1) 協議事項
 - ア 宮古市地域公共交通網形成計画の評価について
 - イ 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
 - (2) 報告事項
 - ア 宮古市移動等円滑化施設整備事業の進捗について
 - イ 宮古市内における共助交通の取り組みについて
 - ウ グリーンスローモビリティの実証運行について
- 4 会議の概要
令和2年3月に策定した宮古市地域公共交通網形成計画の評価として、これまで実施してきた取り組み及び今後取り組むべき課題を説明した。
地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について合意された。
詳細は、別添議事録のとおり。
- 5 問い合わせ先
宮古市地域公共交通会議事務局 宮古市企画部公共交通推進課
電話0193-62-2111 内線4512

令和5年度第1回宮古市地域公共交通会議議事録

- 1 開催日時
令和5年6月23日（金）午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所
市民交流センター2階 多目的ホール
- 3 出席委員
多田康（会長）、佐々木隆文、田頭勇人、三浦芳範、松野文一代理、鈴木一成、川崎利治、若江美伊、長鈴秀夫、高橋智、村林真悟、女鹿政幸、赤石広秋、西村貴之、去石一良、西山和寿
- 4 事務局等出席者
（宮古市）公共交通推進課 公共交通推進課長・吉濱賢寿
公共交通推進係長・根市昇、主事・濱田隼輝
- 5 傍聴者
なし
- 6 議事等
 - (1) 協議事項ア 宮古市地域公共交通網形成計画の評価について
事務局より資料1に基づき説明。地域公共交通網形成計画の評価について了承された。
【意見・質問等】
 - ・小本線の再編について記載があるが、当該路線は国庫補助金の活用を見込んでいるか。また、再編の時期の目安はいつになるか。（委員）
→地域間幹線系統補助を活用予定である。再編時期については今年の冬頃を見込んでいる。（事務局）
 - (2) 協議事項イ 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
事務局より資料2に基づき説明。計画案について合意された。
【意見・質問】
 - ・なし
 - (3) 報告事項ア 宮古市移動等円滑化施設整備事業の進捗について
事務局より資料3に基づき説明。進捗状況について報告した。
【意見・質問等】
 - ・宮古駅のエレベーターが完成した際には、利用しても良いか。（委員）
→ぜひご利用いただきたい。（事務局）
宮古駅の整備はエレベーターの他、ホームからの転落防止柵の整備も行う。供用開始前に一度ご利用いただき、アドバイスを頂きたい。完成後に事務局からご連絡差し上げる。（会長）

- (4) 報告事項イ 宮古市内における共助交通の取り組みについて
事務局より資料4に基づき説明。取り組みについて報告した。

【意見・質問等】

- ・ 田代地域と門馬地域の月ごと利用者数にかなりの差がある。原因を把握しているか。門馬地区が無償から有償に切り替わるとのことだが、地域において無償では事業を継続できないとの認識による運送方法の変更か。(委員)
→ 田代地区では地域内のイベント等への輸送を主な活動としているが、門馬地区はイベント等での輸送の他、106 急行バス黒沢バス停への輸送も行っている。有償に移行する理由として、地域から利用者が無償では使いにくいという声があることを伝えられた。加えて、確実に収入を得ることで、持続可能な交通体系の構築を図ることも目的としている。(事務局)
- ・ 共助型交通に対する市の支援について、補助対象経費は何か。(委員)
→ 燃料費等は対象ではなく、あくまで車両の維持に係る費用を見込んでいる。(事務局)
- ・ 無償から有償に変わること、様々なルールがあることを承知しているか。(委員)
→ 車両保有台数による運行管理者の配置等、地域にも説明したうえで、今回の方針となった。(事務局)
- ・ タクシー事業では、都会でタクシー事業を営んでいた法人が地方でタクシー営業を行うことができるようになってきている。その際、新規に始める法人は既存のタクシー事業者に所属する必要がある。自家用有償も同様ではないか。(委員)
→ 岩手運輸支局の輸送部門に詳細を確認していただきたい。(委員)
- ・ 自動車保険についてはどうなっているか。(委員)
→ 市の補助対象経費に含まれているため、各地域には確実に加入していただく。(事務局)

- (5) 報告事項ウ グリーンスローモビリティの実証運行について
事務局より資料5に基づき説明。実証運行概要について説明した。

【意見・質問等】

- ・ 今回は実証運行ということだが、実証結果が良ければ、すぐ本格運行に移るのか。(委員)
→ 実証による乗車数やアンケート結果を基に分析し、本格運行については検討する。(事務局)
- ・ ドアツードアの輸送はタクシーとの競合も考えられる。慎重に進めていただきたい。(委員)
→ 本格運行に移る際には事前に関係団体等と協議いたしたい。(事務局)
- ・ 実証運行のルートは決まっているか。(委員)
→ 決定している。後日各委員あてに郵送させていただく。(事務局)
- ・ 実証運行に係る経費の財源は何か。(委員)
→ 県の補助金を充当している。(事務局)